

令和7年度 第1回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和7年6月20日（金）午後2時～

場所：犬山市役所2階 205 会議室

出席者：19名中19名

1 開会

2 あいさつ

【事務局】 開会の挨拶を行う。

【山田委員】 「活発で良い議論ができる会議のために」を用いて、本会議の意義について説明。

【事務局】 犬山市地域公共交通会議の委員数19名に対し本日は19名が出席で、全員が出席しているため、本日の会議が成立していることを宣言する。
傍聴者（3名参加）について、説明を行う。また、代理出席、配布資料について説明を行う。

3 議事

(1) 会長・副会長の選任、議事録署名者の選任

【事務局】 犬山市地域公共交通会議規則に基づき、会長の選任について、委員からの互選を促す。

【宮部委員】 磯部委員を会長に推薦したい。

全会一致で磯部委員が会長に就任する。

【磯部会長】 挨拶を行う。

【磯部会長】 副会長は舟橋委員にお願いする。

議事録の署名は、佐々木委員、坂井田委員の2名を指名する。

(2) 協議事項

①犬山市地域公共交通計画の一部修正について

【事務局】 資料1の説明を行う。

【磯部会長】 バスの購入補助を受けるために、計画に一部追記をした。
異議がなければ承認ということでよろしいか。

【委員】 異議なし。

【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

②地域公共交通計画認定申請書(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)(案)について

- 【事務局】 資料2-1、2-2の説明を行う。
- 【磯部会長】 先ほどの議題とも関連するが、こちらも補助金を申請していく中で必要な書類ということ。この資料はこのまま提出するのか、もう少し精査してから提出するのか。
- 【事務局】 基本的にはこの会議で協議が調えばそのまま提出したい。
表1・5・6の部分については、愛知運輸支局から指摘がある可能性があるのですが、その部分については修正をさせていただきたい。
- 【磯部会長】 修正があった場合は会長預かりとさせていただき、承認ということでよいか。
- 【委員】 異議なし。
- 【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

③わん丸君バス再編について

- 【事務局】 資料3-1、3-2、3-3、3-4の説明を行う。
- 【山田委員】 運行時間で朝7時台と夕方18時台も運行を希望する声も一定数ある。今後、運行時間を拡張していく可能性はあるのか。
- 【事務局】 前回の再編で、一律に朝夕1便ずつ削ってしまった。全地区で朝や夕方の便を望む声が出ているのではなくて、通勤通学によく使われる路線からの意見が多かったため、今後は路線ごとに考えていく方針。
- 【山田委員】 路線によって遅くなるバスや、早めに走り始めるバスが出てくる可能性もあるのか。
- 【事務局】 はい。
- 【山田委員】 バス停の廃止についてもやむを得ないという意見があり、ドライバーからも1回の運行の長さについて意見があった。こうしたことについて今後どう考えているか。
- 【事務局】 現在の運行は、時間帯としてたくさんのバス停を回ってもらうギリギリの状態である。
現在走っている路線上にバス停を設置することはあり得るが、路線を延長してまでは難しいと思っている。
- 【宮川委員】 初めて見たときに路線の見方や乗り方をどう説明したらいいか。善師野は赤い線で、この線を順に回っていくのか。
- 【事務局】 善師野・塔野地線は善師野台北からずっと順に走っていくものとなっている。
また、バス停についてはわん丸君バスはすべて同じ色のバスでわかりにくいため、バス停での表示について工夫しようと思っている。
- 【磯部会長】 以前より台数が増えたこともあり、工夫が必要。
提案の内容を承認してよいか。
- 【委員】 異議なし。
- 【磯部会長】 全員一致で協議が調った。

(3) 報告事項

①公共ライドシェアの実施について

- 【事務局】 資料4の説明を行う。
- 【山田委員】 運賃の関係で、完全キャッシュレスの浸透についての実証的な内容だと思うが、これが定着した場合に本格運行になった場合もキャッシュレスのみか、それとも現金も受け付けるのか。
- 【事務局】 通勤通学時間帯をターゲットとしているため、スマホの所持率からキャッシュレスのみとしているが、これからそれ以外の方もターゲットになってくる可能性もあるため、現段階では未定。
- 【山田委員】 現金を取り扱うとなると、運転者の方のオペレーションが変わってくるため、注意が必要。
- 【事務局】 市役所に駐車している車内で、名鉄西部交通と遠隔点呼をして業務開始・終了としている。
- 【磯部会長】 現金の場合では、收受した現金を誰が事業所まで持っていくのかなどの問題がある。私の感覚では、世の中の流れとしてキャッシュレスが主流になるということは思う。お金を扱うということは、とても責任が伴うことなので、ドライバー募集にも影響が出るかもしれない。
- 【小林委員】 実績を見ると、通勤通学に機能しているとあるが、毎日定期的に使っている人は1～2人なような気がするが、実際はどんな感じか。
- 【事務局】 毎日乗る方は2人程度と聞いている。
元々定期を買っていた方は17～18人で、そのうちの2人が毎日、またその他数人が時々乗っているということ。
その他の方については車を購入した方や、送迎をお願いしているという方などを聞いている。
毎便3～4人が利用しているという状況となっている。
先日、市長が朝夕と乗車したが、朝は3人乗車していて、1人は初めてという方だった。夕は合計4人乗車して、1人は初めての方。継続していく中で少しずつ増加していけばと思う。
- 【長尾委員】 利用者目線でなく、運行目線で語っている気がする。私は82歳でこの辺りの年代はキャッシュレス決済が使えない。
- 【事務局】 これまでは時間がなかったこともあり、QRコード決済のみにしていたが、今後の本格運行では、定期券等で先払いの形をとれるように検討をしていく。
- 【磯部会長】 羽黒駅周辺で名古屋方面に行かれる方は、犬山駅でなくても羽黒駅までつないでそこから電車で行く選択肢もあるため、どういう構図の流れがふさわしいか検討していくチャンスと思う。
- 【磯部会長】 その他意見などあるか。
- 【委員】 異議なし。

②わん丸君バス 利用実績等報告

- 【事務局】 資料5の説明を行う。
- 【長尾委員】 この会議は何年からやっている。
- 【事務局】 平成19年か20年くらいからかと思う。
- 【長尾委員】 それだけ長いことやっていて、なぜ利用者が減少しているのか。
- 【事務局】 コロナ前までは右肩上がりで来ていたが、コロナでガクンと落ちてしまった。また、初めての減便もあり、4,000人ほど減少してしまった。この二つの要因が大きいと思う。
- 【長尾委員】 言い訳とかばかり書かれていて、利用者を増やす取り組みが書いてない。
- 【事務局】 取り組みとしては、小中学生無料乗車などを行っている。
- 【長尾委員】 もっとPRが大事なのでは。前にタクシーチケットを使った時も4人で1枚しか使えなかった。
- 【粥川委員】 高齢者支援課でやっているタクシーチケットであれば、基本的には初乗り料金助成で行っているのだから、何人で乗っても利用するチケットは1枚のみ。また、令和6年度からサービスの拡充を行っていて、75歳以上の住民税非課税世帯を対象に追加した。関係機関に再度周知をしていきます。
- 【長尾委員】 夏休みの小学生の利用が減っているのはどうして。
- 【事務局】 前回の減便の影響により、塾の行きに使っていたバスが無くなってしまったためと思われる。犬山駅に各地区から塾のために集まっていた。
- 【長尾委員】 ということは、その辺りの利用時間を考えれば、利用者を増やせると。
- 【事務局】 そうなります。ただ、法改正の影響により、労働時間が厳しくなっているので、調整が必要。
- 【松浦委員】 労働時間が厳しくなった事のほかに、人件費の部分も影響している。犬山市は1人運行をしているが、他市町村は大体2人運行をしている。そうすると人件費は2倍になり、財政的な問題も発生してくる。その辺りもご理解いただきたい。
- 【磯部会長】 みんな完璧な形でやろうとしているが、難しい。

③令和7年度紅葉ルートバスの運行について

- 【事務局】 資料6の説明を行う。

④その他

- 【磯部会長】 他の交通事業者から、利用者数の状況を報告してほしい。
- 【夫馬委員】 名鉄の利用者は令和5年度と比較すると令和6年度は1駅を除いて100%を超えており、回復基調にある。ただし、コロナ前と比べると90%しか戻ってきておらず、犬山線は名鉄全線と比べて戻りが悪くなっている。
- 【玉置委員】 タクシーは犬山地区の営業成績はずっと100%を超えている。タクシー制度変更による高齢者の方の援助が増えたということは大きいかなと思う。今後も様子を見守っていきたい。

- 【宮部委員】 明治村線の方は4月の前年比で113%、5月で90%というような状況で、観光施設の方の状況でこのような形になっているかと思われる。リトルワールドモンキーパーク線については、4月で81%、5月で91%ということで、こちらは減便の影響でこうなっていると思う。
- 【坂井田委員】 令和6年度から現在まで特に問題なく運行している。
全体的には減少しているが、コースによってはプラスとなっているところもあるため、伸び代はある。
- 【磯部会長】 それぞれ少しは上向いているが、人口減少の時代ということもあり、昔のようにはいかない。それを踏まえたうえで使いたいと思っている人の意見をくみ取ることが必要で、力を合わせてやっていきたいと考える。
- 【夫馬委員】 わん丸君バスも無料バスなどの取組があったが、名鉄でも子供マナカキャンペーンでマイレージポイントキャッシュバックを行った。
幼少期から公共交通に親しみを持ってもらう取り組みを今年も行っていきたい。
各自でも公共交通に親しみを持ってもらうように動いてもらいたい。
- 【安藤委員】 総合犬山中央病院の建て替え工事が2025年8月より本格的に始まる。
現在事前工事を行っている影響により、工事のステップに合わせて、バス停の位置を変更する。
2027年1月に本館工事終了し、同年4月に開院。その後、西館や中央棟を建設し、2028年11月にグランドオープンとともにバス停の最終的な位置が決定。
病院正面ロータリーの屋根がついている部分に設置する予定。
- 【鈴木委員】 犬山市を含む尾張北部で今年度実施している新モビリティサービス推進事業の報告。
コミュニティバスを中心とした移動の利便性の向上や地域をまたいだ移動の活性化、公共交通の事業者拡大を目的とし、多数の市町村で連携し、地域に根差したMaaSアプリを導入する実証実験になる。
今回は、小牧市・犬山市・北名古屋市・豊山町・大口町を対象に実施する予定。
この地域はコミュニティバスの運行事業者が異なるため、協力をしていただく。
事業内容は、MaaSアプリの構築とデータプラットフォームの構築。
MaaSアプリの構築では、経路検索やデジタルチケット販売を入れたいが、今回の実証実験の特徴としては、バスの運行情報の提供というところに重きを置いて実施。
各市町で行っているバスロケーションシステムを統合したい。
データプラットフォームの構築は、各市町のコミュニティバスの乗降数を一つのプラットフォームにまとめ、乗降者数の発表や利用者の分析に寄与できるものを作りたいと考えている。
スケジュールは、この事業が国の補助金を活用して実施するため、申請等の手続きが終わったタイミングで、システムなどの構築に入っていきたいと考えている。
実際にMaaSアプリを運用するのは、9月の中旬から3ヶ月間というところで予定をしている。
- 【事務局】 市としても協力していく。
- 【磯部会長】 以上をもって本日の議事を終了する。

4 閉会

【事務局】

閉会の挨拶を行う。次回会議の案内をする。
令和7年10月3日（金）10:00～開催する。

以上

本書は、令和7年6月20日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

令和 7年 7月 22日

署名人 佐々木 信祐

署名人 坂井田 成広